

# 第24回日本助産学会学術集会

<http://www.macc.jp/jam2010ibaraki/>

一般演題募集 2009年8月4日(火)~9月3日(木)



## 助産を育む

Raising Midwifery

### プログラム

- 会長講演：助産を育むための問いの立て方
- 招聘講演：次世代の助産師を育む  
バーバラ・カツツ・ロースマン（NY市立大学教授）
- シンポジウム1：各々が主人公となる助産
- シンポジウム2：助産の土壌を耕す（政治・経済・法律において）
- 教育講演：反省的実践家としての助産師とは、他
- ワークショップ、市民フォーラム、他
- ポスター展示：研究発表・実践報告・事例報告等

2010年3月20日(土)~21日(日)  
つくば国際会議場  
住所 つくば市竹園2-20-3  
会長 加納尚美  
(茨城県立医療大学、教授  
日本助産学会、理事)

お問い合わせ先 第24回日本助産学会学術集会事務局  
〒102-0083 東京都千代田区麹町4-2-6 第2泉商事ビル5F  
(株)MAコンベンションコンサルティング内 TEL 03-5275-1191/ FAX 03-5275-1192/ e-mail: info@macc.jp  
※学術集会詳細は裏面をご覧ください



# ごあいさつ

第24回学術集会会長 加納尚美

今回は、学術集会テーマ「助産を育む」を通じて、子どもを産む・育てる助産行為を、様々な視点で掘りかき深めていきたいと考えております。およそ40億年前に地球上に生命が誕生して以来、長い年月をかけ、現在の生命に満ちた地球に私たちは存在しております。これまで人類は多くの戦争や紛争、災害を経験し、21世紀は人類の壮年期とも言われております。これからの舵取り、方向づけがあらゆる分野で問われており、生命の誕生を助け、育む「助産」という行為も、今まさに重要な鍵を握るに違いありません。そこで、「私」「私たち」「あなた」「あなたたち」自身が主人公となり、各々助産を育むという視点で、性と生殖、子産み、子育て、家族や地域社会のあり方等について、参加型のプログラムを計画しております。皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。



## 招聘講師ご紹介 (バーバラ・カッツ・ロースマン)

ニューヨーク市立大学社会学教授、ベルリンのCharité – Universitätsmedizin 大学健康社会学、ドイツOsnabrueck大学客員教授として活躍中。オランダ、英国の大学でのフルブライト教授を歴任、一貫して女性とバイオエシックスの問題に取り組み、アメリカ社会学協会賞、社会学者としての指導者賞、社会問題研究のためのリー創設賞等を受賞。著書は多数あり、日本語（『母性をつくりなおす』勁草書房）、ドイツ語、フィンランド語に翻訳されている。



## 一般演題登録に関するご案内

第24回学術集会への一般演題登録は、学術集会ホームページより登録して下さい (<http://www.macc.jp/jam2010ibaraki/>)。

演題登録に関する詳細なご案内は2009年7月中旬以降にホームページにてさせていただきます。尚、一般演題のお申込みは、発表者、共同研究者ともに日本助産学会の会員に限ります。お申込みの時点で学会員ではない方は入会手続きを行って下さい。入会方法は、学会ホームページ (<http://square.umin.ac.jp/jam/>)にてご案内しております。または下記の連絡先にお問い合わせ下さい。

日本助産学会事務局

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-12-2 日本助産師会館3階

Tel. & Fax. : 03-3866-3032 E-mail : [jam1987@ninus.ocn.ne.jp](mailto:jam1987@ninus.ocn.ne.jp)

## 学術集会参加申込み

学術集会参加申込みは、すべて当日の登録になります。(事前参加申込みはありません)

## 予定プログラム

2010年3月19日(金) プレコンgress 20日(土)・21日(日) 学術集会

\*懇親会20日夜